

人と自分を大切に

「いじめはしない、させない、ゆるさない」という約束が守れるように、「人と言葉を大切に」という話を折にふれてします。

しかし、他の人を思いやり大切にしようとする余裕がもてない場合もあるかもしれません。自分が苦しくつらいとき、自分に自信がもてなくて不安なとき、人を大切にするのとは程遠い、あるいは逆の行動をとってしまうこともままあります。「人を大切に」するためには、まず「自分を大切に」できることが先決だと思います。自分に自信をもつ、自己肯定感を高める、これによって自分の中に許容量が増し、他の人を大切にする余裕が生まれてくるはずです。

去る11月20日に釜利谷地区センターで行われた「社会を明るくする運動」講演会で、講師の寺木博先生は「子どもの自己肯定感を高める手立て」として、次の点を挙げていました。

- ① よいことを伝えながら子どもをほめる
- ② 子どもを叱る際には理由を伝える
- ③ 子どもに様々な体験をさせる
- ④ 子どもに大人が感動した姿を見せる
- ⑤ 子どもの話をよく聞く

大人からの働きかけで子どもたちの自己肯定感を高められるよう、職員と先の5つの点について共通理解を図りました。子どもたちが自分も人も大切にできるよう、ご家庭でも取り組んでいただけますと幸いです。

12月10日の世界人権デーに合わせて、学校では毎年人権週間を設けています。今年は11月28日～12月9日で、28日朝に校長が「人権講話」を行いました。

自分を大切にするためには、自信をもてるようになることよいか。自信をもてるようになるために、できることが増えるとよいか。できなくても、やってみる、がんばることも自信につながるのではないか。自分に自信をもって、自分を大切にすることができるように、いろいろなことに「自分から」とりくんでみてほしい、という話をしました。

